

【研究課題】

脳磁図を用いた高齢者における言語能力と脳活動との関係性の検討

(国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 臨床研究倫理審査委員会 承認番号 17011)

1. 対象

2017年5月8日～2020年3月31日の期間で、50歳～70歳までの健康人15名と20～30歳までの健康人15名の合計30名。

2. 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

3. 目的

脳磁図という脳の電気活動を計測する装置を用いて、言語を考えているときの脳活動を計測し、その脳活動量と実際の言語能力テストの点数を比較することで、言語能力を推定できる脳活動を明らかにする。

4. 方法

言語課題時の脳活動を脳磁図により計測する。また、認知機能検査（WAIS-III、WMS-R）における言語能力を表すサブスコアを算出し、若年層、高齢層それぞれの群で脳活動の強度との相関を解析する。

5. 意義

現在、言語能力の検査は筆記や口頭により回答するテストにより実施されているが、所要時間も数時間にわたり、認知機能に障害を持っている患者にとって大きな負担となる。そこで、本研究により脳活動から実際の言語能力を推定できれば、従来の言語能力テストに代わる非常に簡便な言語能力検査法の確立に寄与するものと考えられる。

6. 個人情報の取り扱い

研究対象者のデータから氏名等の個人情報を削除し、代わりに新しく符合を付けて匿名化を行い、符合と個人情報を結びつける対応表などは一切作成しない。

7. 問合せ先

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号